



**やまどの
神さま**

（住所）野迫川村池津川347
 （祭神）火産霊神、誉田別命
 （交通）南海高野山駅からバス約1時
 間（土日祝のみ、要予約）、
 （拝観）境内自由
 （駐車場）有（無料）
 （電話）0747・37・2001

五條市から車約1時間15分

荒神社は通称「立里荒神」と呼ばれています。創建の確かな年代は分かりませんが、西暦800年ごろとされ、笠山荒神（桜井市）、清荒神（兵庫県宝塚市）とともに日本三大荒神の一つに数えられています。県西南部ですが、高野山からのアクセスの方が良く、奥高野の秘境



と呼ばれる野迫川村、荒神岳の標高1242mに

荒神社 （野迫川村）

鎮座しており、ここから望む雲海は見事です。当神社の三宝大荒神略縁起では空海が高野山を開山する際に修行し、三宝荒神を勧請したとも伝わる弘法大師ゆかりのお宮です。熊野参詣道小辺路の東側にあり、古くから高野山と結ぶ神仏習合の宮で、明治まで宝積院と称していました。祭神は火産霊神と誉田別命です。火産霊神は阿弥陀如来が本持仏で商売繁盛、火の神、竈の神として火や竈にかかわる職業の人や高野山参詣の人々を中心に全国からあつい信仰を集めています。

奥深い山中ですが、広い駐車場、食事処や土産物店もあり、参籠できる施設もあります。

大鳥居から社殿までつづら折れに石段の参道が続き、連続する白木の鳥居が荘厳で神秘的です。拝殿は軒が円形にくりぬかれ、そこを杉の幹が貫通しており、木の生命力・気を得るパワースポットでもあります。

三大荒神 空海も修行

（奈良まほろばソムリエの会員 柏尾信尚）